

どこかで誰かが見ている 副院長 循環器内科部長 俵原 敬

「自分、不器用ですから」1984年の日本生命のCM。高倉健さんが昨年2014年享年83歳で逝った。我々の世代でも男の憧れだった。さいとうたかをの人気漫画ゴルゴ13のモデルだったとの話もある。これは47年間連載されている劇画で、私としては世界情勢などを知るのに大変役立った。余談だが連載の始まった1968年にゴルゴ13が30歳と仮定すると今年77歳の喜寿のお祝いということになる。

ところで2014年の私の選ぶベスト映画「大秦(うすま)ライムライト」という映画で斬られ役一筋のベテラン俳優で初主演を務め、第18回ファンタジア国際映画祭主演男優賞を受賞し、歴代最長受賞記録を更新した福本 清三さん(71歳)をご存じでしょうか。2002年ハリウッド映画ラストサムライに出演したこともある俳優さんですが高倉健さんのように名前を聞いてわかる人は少ないと思います。50年以上に渡り、時代劇などの「斬られ役・殺され役」を演じてきたことから、

「5万回斬られた男」の異名を持つ俳優で、少しでも画面に残りたいという役者根性から「斬られる」事の研究も怠らず、「海老反り斬られ」など見る者に強烈な印象を与える「死に方」を日々模索していたと言われていてくれる」を地で行く人生です。

継続は力なり。続けることの大切さを端的に述べた格言で座右の銘にしている人も多いかと思えます。英語訳としてはPractice makes perfectやConstant dropping wears away the stone などのいろいろあるようですが、あまりぴんとくるものも無く、きっと日本人が好きな格言ではないでしょうか。

仕事においてだけでなく病気の治療・健康管理でも「継続は力なり」です。食事療法、運動療法、睡眠、必要なら薬物療法も継続は力なり。手術で5万回切られることはないでしょうが、「どこかで誰かが(神様?)見てくれる」。ご褒美に健康寿命日本一など(浜松市)。



やさしい 疾患手帳 鼠径ヘルニア

一般・消化器外科副部長 代永 和秀



Profile プロフィール

- 所属…外科
- 役職…一般・消化器外科副部長
- 専門分野…消化器外科
- 認定医・専門医等…日本外科学会専門医

一般には「脱腸」として知られています。ヘルニアというと腰の病気と思う方も多いと思います。ヘルニアとは体の組織の一部が正しい場所からはみ出ているという意味であり、足の付け根の鼠径部から出ているものを鼠径ヘルニアと呼びます。

立っている時やおなかに入力した時に、鼠径部に柔らかい腫瘍が出てきたり、違和感や痛みなどが出てきたりすることが症状です。

原因は、加齢などによるおなかの筋力の緩み、腹圧のかかる仕事、便秘、肥満などがあげられます。

鼠径部には、おなかの中と外をつなぐ鼠径管という管があります。この入り口となる隙間が、筋肉、筋膜の緩みで広がり、おなかの臓器を包んでいる腹膜の一部が嚢状に出てきてしまいます。

自然治癒することではなく、治療は手術のみです。薬では筋力を強くすることはできません。筋肉トレーニングなどは過度な腹圧がかかり、かえって悪化してしまうことがあります。

鼠径ヘルニアは良性的の病気ですので、放置しておいても問題ないことがあります。ただし、嵌頓(カントン)といった状態になることがあり、最悪の場合は腸が壊死してしまい、緊急手術が必要となることがあります。

手術には、メッシュという網を用いた修復または弱い部分を直接縫縮する、二つの方法があります。メッシュ法の方が再発率は低く、術後の痛みも少ないため、主にメッシュ法を行っています。

麻酔は腰椎麻酔や全身麻酔で行い、入院期間は約3-7日です。

気になる方は一度ご相談ください。



病院探検



糖尿病チーム

医師 糖尿病教室に来ているだけで血糖がよくなる?!-本当です- 教室で知識を深めるのももちろんですが、週1回無料の教室に足を運ぶという動機付けが自分の体を大事にしようというきっかけ作りになるようです。お待ちしております。

看護師 私達看護師は、低血糖、フットケア、体調不良時の対応(シックデイ)についての講義を実施しています。日常生活で疑問に思っていることに答えながら、基本として覚えてもらいたいこと(知識)についてわかりやすく説明しています。 また、多くの分野の認定看護師にも講義に参加してもらい、より専門的で豊富な情報を提供できるようにしています。

薬剤師 「お薬の話は難しいっ!!」というお話を患者さんからよくお聞きします。私たち薬剤師はそんな難しいお薬のことができるだけわかりやすく、楽しくお伝えすることを目標に教室を開催しています。インスリンの模擬体験もありますので、ぜひお越しください。

管理栄養士 お食事で困っていることはありませんか?教室ではカードゲームやクイズ形式、仮想ショッピングモールへお出かけなど体験型の講義を行っています。管理栄養士と一緒に、楽しく普段の食生活を振り返り、今後に活かせるヒントを見つけましょう。私たちがサポートします!

臨床検査技師 糖尿病は、「検査の病気」といわれるほど、病状把握のために検査は重要です。そのためには、検査の意義や結果の解釈について、知識が必要となります。 教室では、血糖・HbA1c等を調べる血液検査、尿糖・微量アルブミン等を調べる尿検査、動脈硬化の程度を調べる頸動脈エコーABI検査について、わかりやすく説明します。

※糖尿病チームの中には、日本糖尿病療養指導士(CDEJ)、静岡県西部糖尿病療養指導士(LCDE)の資格を持ったスタッフがおります。この資格は、糖尿病とその療養指導全般に関する正しい知識や熟練した経験を有し、かつ糖尿病に関する研修を修了し、試験に合格した看護師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士に与えられます。糖尿病療養指導士は、患者さんが無理なく不安なく療養生活を送るためのパートナーです。糖尿病教室でも講師を務めさせていただきます。困ったこと、疑問に思ったことなど遠慮なくご相談ください。

「誰でも参加できる」糖尿病教室

毎週水曜日に無料で誰でも参加できる糖尿病教室を開催しています。講義は、前半に総論、「糖尿病はどんな病気?」等を題材に行い、後半は食事、薬、運動、日常生活等について行っています。テーマは毎週異なり、多くの情報を発信する機会としています。 分かりやすい言葉で話そうに心掛け、また、クイズ等も行い、患者さんが参加できるようにしています。また、糖尿病カンパセーションマップというものを使って、患者さんの知識や体験から

糖尿病について互いに学びを深める場を提供しています。患者さん同士の交流ができると好評をいただいております。 皆さん、糖尿病教室へ参加してみませんか。お待ちしております。

- ◆ 日 時 / 毎週水曜日 14:30~15:30
- ◆ 場 所 / 浜松赤十字病院 2階 研修ホール
- お問合せ・お申込み先 浜松赤十字病院 内科外来 電話:053-401-1111(代表)

3月の予定

	14:30~15:00	15:00~15:30
3月4日(水)	講師 循環器内科医師 高林 テーマ 元気に生活長生きしよう	理学療法士 鈴木隆範 運動療法 ~座って運動 あなたもいきいき元氣~
3月11日(水)	講師 管理栄養士 栗田 (電卓をお持ち下さい) テーマ 日赤ショッピングモールへ行ってみよう!	視能訓練士 中山 糖尿病から目を守る
3月18日(水)	講師 LCDE 臨床検査技師 吉田 テーマ ~糖尿病カンパセーションマップを使って~「糖尿病とともに歩む」	LCDE 臨床検査技師 吉田 あなたの血管年齢は?
3月25日(水)	講師 LCDE 薬剤師 渥美 テーマ 意外と知らない薬の基礎	

※3月18日(水)は、2階の第5会議室で開催します 日程の中からお興味のあるテーマのみ参加される方も大歓迎です!

糖尿病教室(無料)を開催しています

糖尿病は、インスリンというホルモンの分泌低下で、ブドウ糖が細胞に入りにくくなることにより、血糖値が高くなる病気です。

糖尿病の初期は、自覚症状がほとんどありません。そのため、健康診断で血糖値が高かったり、糖尿病と診断されたりしても、治療を受けていない人が多いのが現状です。

血糖値が高いままの状態を続けると、徐々に全身の血管や神経の障害が起こり、腎症、網膜症、神経症など合併症が起こります。

「症状がないから大丈夫」ではなく、早期発見・早期治療、生活の習慣を改善することで合併症を予防し、病気の進行を防ぐことができます。

浜松赤十字病院糖尿病チーム

私たち糖尿病教育チームは、医師・看護師・薬剤師・管理栄養士・臨床検査技師・理学療法士・視能訓練士から構成される糖尿病療養の専門スタッフです。

当院の患者さんをはじめ、糖尿病について興味のある方に正しい知識を提供し、前向きに治療に取り組み、療養生活を送ることができるようにサポートしていくチームです。

糖尿病は自己管理がとても大切な病気です。自己管理できれば普通の人と変わらない生活を送ることができます。私たちは、患者さんが自分の生活習慣を見直し、自分らしく日常生活を送ることができるようにサポートしていきます。

患者満足度調査

患者サービス推進委員会

昨年11月に、患者さんの当院についてのご意見を伺い、医療の質の向上を目指すために、外来および病棟で患者満足度調査を実施いたしました。

多数の方にご協力をいただき、誠にありがとうございました。集計結果の一部をご報告させていただきます。

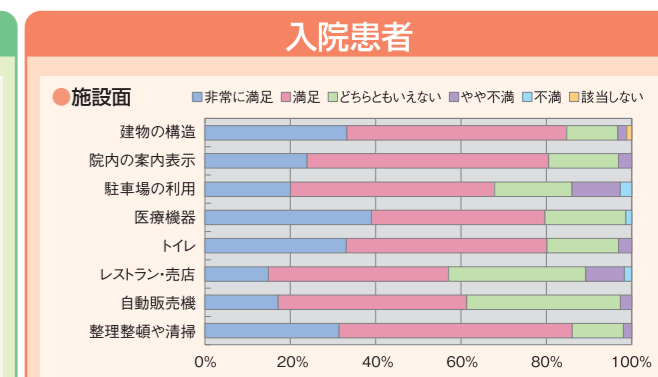
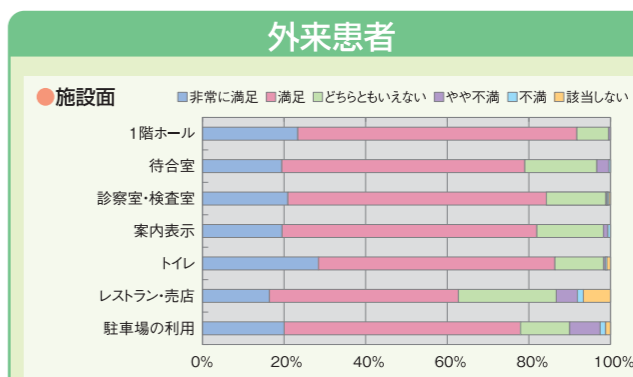
1. アンケート調査の方法

- 調査対象および調査方法: 外来、入院患者に対し、調査票の配布によるアンケート方式で実施。
- 調査時期: <外来>平成26年11月10日(月)~21日(金) <入院>平成26年11月17日(月)~21日(金)
- 回答者数: <外来>546名(配布枚数600枚、回答率91.0%) <入院>120名(配布数151枚、実回答率79.47%)

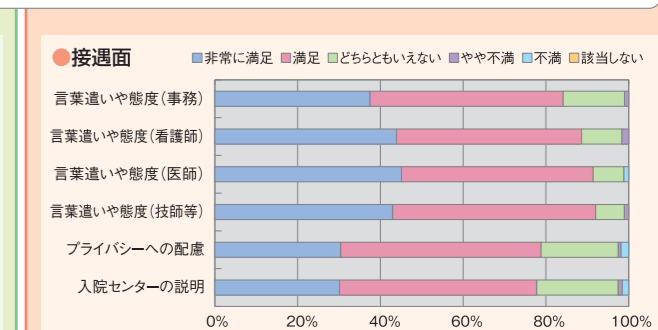
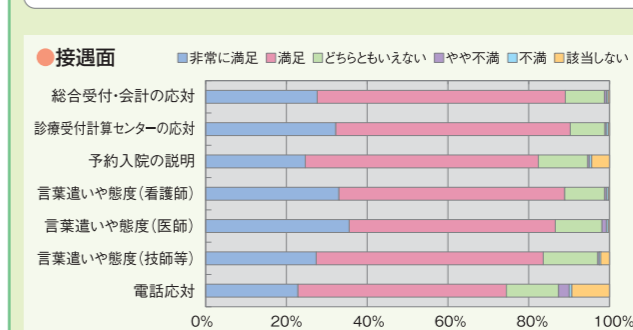


2. 調査結果

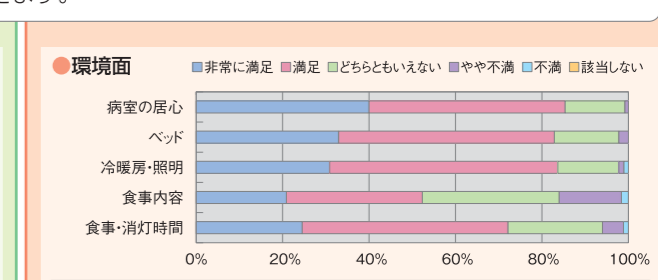
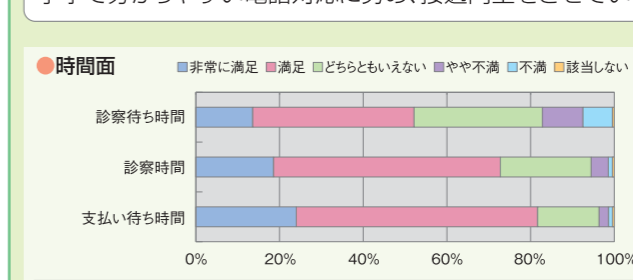
Q. 当院の満足度をお答えください。



レストラン、売店等のアメニティの向上に努めてまいります。



「職員の言葉遣いや態度」については概ね高い評価をいただいておりますが、「電話対応」は低い満足度となりました。より丁寧で分かりやすい電話対応に努め、接遇向上をさせていただきます。



「診察待ち時間」は低い満足度となりました。外来は予約制ですが、診察時間のすれによりお待ちいただく場合がございます。ご迷惑をお掛けしております。 他院同様、病院食は味付やカロリー制限などがあり、「食事内容」について不満であるとの回答をいただきました。今後、メニューの充実にも努めてまいります。

3. まとめ

多くの患者さんからいただいた評価や貴重なご意見を、病院全体で共有し、今後の病院運営に反映させていただきます。日頃お気づきのことは、職員または「ご意見箱」などにご意見くださいますようお願いいたします。